

がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標

わたし
私たちは

しょうがいまな つづ
生涯学び続けることができる人を育てます (知)

みづか かんが ただ はんだん どりよくじつこう ひと そだ
自ら考え正しく判断し、努力実行できる人を育てます (徳)

じた せいめい たいせつ しんしん けんこう ひと そだて
自他の生命を大切にし、心身の健康な人を育てます (体)

「まち」から学び、社会に貢献できる人を育てます (公)

じた みと あ きょうせい ひと そだ
自他を認め合い共生できる人を育てます (開)

校訓
努力 自律 敬愛

こうふく
「幸福について」

こうちょう まつもと つよし
校長 松本 剛

「バーテンダー」というマンガがあります。主人公のバーテンダー（バーやホテルなどのカウンターで
お酒やカクテルを提供する職業）が、訪れるお客との対話を通して、その悩みや人生に寄り添い、心
を癒していく物語です。

その物語の中で、ある登場人物が次のように語るシーンがあります。

おれ そんけい の
「俺の尊敬するヨット乗りは
人間の幸せは4つしかないって言うんだ

ふか かん じゆう かんが
“深く感じて自由に考える”

たんじゅん たの
“単純に楽しむ”

ひと もと
“人から求められる” そして

いのち
“命をかける”

まえ しあわ
お前は、幸せか？」

わたし この言葉が好きで、定期的に読み返し、自分自身を振り返ったり、考えたりしています。
ここで語られている「幸せ」は、どれも数値では表しにくいものです。

きょう みなさんには成績経過票が渡されました。

もちろん、成績経過票は大切なものです。教科学習について、自分が何を頑張ることができたのか、そ
して、これからどのようなことに取り組んでいく必要があるのかを考えるための、大切な材料です。

しかし、今日示された結果だけを見て、一喜一憂する必要はありません。成績経過票に示されているの
は、今のあなたの「すべて」ではありません。ましてや、あなたの価値や、これから先の可能性を決める
ものでもありません。

成績経過票のようなものとは異なり、数値ではなかなか表すことのできないものもあります。

人を思いやること。誰かの話を丁寧に聴くこと。失敗しても、もう一度やってみようとする。何かに心から楽しむこと。誰かから必要とされること。そして、自分なりに「どう生きたいのか」を考えること。こうしたものも、私たちが生きていく上で、とても大切なものです。

国の「第4期教育振興基本計画」では、＜ウェルビーイング＞の向上ということが示されています。

ウェルビーイングとは、心も体も元気で、人とのつながりもよく、「自分は幸せだ」と感じられる状態のことです。今の楽しさや幸せだけでなく、「自分らしく生きること」や「生きがいをもつこと」など、これから先も続く幸せを含みます。

また、一人ひとりが、それぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、学校や地域、社会全体も、みんなが安心して豊かに生活できる良い状態にあることを表す言葉です。

100人いれば、100通りの幸せの形があるでしょう。

ですから、「これがあなたの幸せです」と、誰かが決めることはできないのだと思います。

ただ、ウェルビーイングの説明にあるように、「人とのつながりを大切にすること」や「みんなが安心して生活できる状態」を目指すことは、とても大切です。

これは、本校の校訓の一つである「敬愛」にもつながるものだと、私は考えています。

後ほど紹介する哲学者の三木清さんは、「幸福は表現的なものである」と述べています。自分がどのような人であるかは、日々の人との関わり方に表れます。

人によって態度を変えること。いじわるな態度をとること。誰かを見下すこと。そうした姿は、少なくとも、三木清さんが述べる「幸福」からは遠い状態なのだと思います。

反対に、機嫌よく人と接すること。丁寧にに関わること。親切にすること。人の失敗を許すこと。

そうした一つひとつの姿が、自分だけでなく、周りの人の幸せにもつながっていくのだと思います。

明日から夏休みになります。

部活動や学習、習い事など、様々な活動で忙しい人もいるでしょう。それでも、普段より少し時間の流れが変わる夏休みだからこそ、ぜひ、ゆったりと自分自身を振り返る時間をもってほしいと思います。

「自分にとって、幸せとはどのようなものなのだろうか」

「どんな状態が、自分にとっての幸せなのだろうか」

「自分は、人とのどのように関わっているだろうか」

明確な答えが見つからなくても構いません。自分自身を振り返り、考える時間をもつこと。それ自体に意味があると、私は思います。

8月27日、朗らかな姿のみなさんに会えることを楽しみにしています。

最後に、私が好きな一節を紹介합니다。

——— 幸福について（三木 清 さん著『人生論ノート』からの抜粋） ———

幸福は人格である。ひとが外套（コートのこと）を脱ぎすてるようにいつでも気楽にほかの幸福は脱ぎす
てることができる者が最も幸福な人である。しかし真の幸福は、彼はこれを捨て去らないし、捨て去るこ
ともできない。彼の幸福は彼の生命と同じように彼自身と一つのものである。この幸福をもつて彼はあら
ゆる困難と闘うのである。幸福を武器として闘う者のみがお倒れてもなお幸福である。

機嫌がよいこと、丁寧なこと、親切なこと、寛大なこと、等々、幸福はつねに外に現れる。歌はぬ詩人と
いうものは真の詩人でない如く、単に内面的であるというような幸福は真の幸福ではないであろう。幸福
は表現的なものである。鳥の歌うが如くおのづから外に現れて他の人を幸福にするものが真の幸福である。

「夏休み中の本校の閉庁日について」

8月10日、12日～14日の期間は、本校の学校閉庁日となっております。
この期間、緊急の場合は、次の連絡先にご連絡ください。

【緊急連絡先電話番号】

横浜市教育委員会事務局 東部学校教育事務所

411-0608

※学校以外の相談先

教育総合相談センター一般教育相談

電話番号：045-624-9414 月～金 9：00～17：00（祝日・年末年始を除く）

24時間子どもSOSダイヤル

0120-078310（フリーダイヤル）24時間 365日

ワンストップ支援センター「かならいん」

#8891 24時間365日（NTTひかり電話からは、0120-8891-77（通話料無料））

（一部のIP電話等からはつながりません。その際は、045-322-7379（通話料がかかります））